

第25回長野県クラブユースサッカー選手権（U-14）大会
兼 第14回北信越クラブユースサッカー新人（U-14）大会長野県予選大会

大会要項

1. 主 旨 日本将来を担うジュニアユース年代のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、長野県クラブユースサッカー連盟（U-15）に加盟登録した全チームが参加できる大会として実施する。
2. 名 称 **第25回長野県クラブユースサッカー選手権大会（U-14）**
兼 第14回北信越クラブユースサッカー新人大会（U-14）・長野県予選大会
3. 主 催 一般社団法人長野県サッカー協会
4. 主 管 長野県クラブユースサッカー連盟
5. 後 援 上田市／上田市教育委員会／菅平高原観光協会／伊那市／筑北村／株式会社モルテン
6. 期 日 2019年 8月10日(土)、17日(日)…1回戦、2回戦
2019年 9月 7日(土)、 8日(日)…ベスト12、ベスト4（代表決定戦）
2019年10月19日(土)、20日(日)…順位決定ラウンド
7. 会 場 菅平高原グラウンド／伊那市陸上競技場／美和湖芝生グラウンド／筑北村サッカー場
1. 参加資格 公益財団法人日本サッカー協会に第3種加盟登録し、尚且つ、北信越クラブユースサッカー連盟及び長野県クラブユースサッカー連盟に2019年4月1日までに加盟登録したチームであって以下の条件を満たすものに限る。
 - (ア) チームは、2005年（平成17年）4月2日以降の出生者で構成されていること。また、11人以上の選手で構成されていること。
 - (イ) 選手は他の第3種登録チームに二重登録されていないこと。
 - ※ 同一クラブ内の第3種女子登録選手及び第4種登録選手は、現登録のままでの出場を認める。ただし、公益財団法人日本サッカー協会へのクラブ申請を済ませてあること。
 - (ウ) 大会期間中は、一つのチームにエントリーをしていること。
 - (エ) 選手は、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証（写真を貼付したもの）を持参すること。ただし、電子登録証（写真が登録されたもの）が確認できる場合は、それを選手証と同じ扱いとする。
 - ※ 電子登録証とは、公益財団法人日本サッカー協会が公式に認めた登録証で、パソコン及びスマートフォン並びにタブレットの画面上に資格情報が表示されたものをいう。
 - (オ) 選手は、スポーツ安全保険などに加入していること。
 - (カ) 本大会への参加申込みは、指定した申込み先に**2019年7月1日(月)まで**に送信すること。
 - ※ パンフレット代金は、指定した口座に2019年7月22日(月)までに入金すること。
9. 表 彰 1位、2位のチームには、それぞれ優勝杯、準優勝杯を授与する。また、上位4チームには賞状を授与する。
10. 北信越大会 1位、2位の2チームには、第14回北信越クラブユースサッカー新人大会（U-14）への出場権を与える。また、3位～8位の6チームには、第30回北信越クラブユースサッカー新人フェスティバルへの出場権を与える。
11. エントリー変更 選手のエントリー変更及び追加は、各チームの最初の試合の3日前まで変更及び追加を認める。ただし、9月のベスト12に進出したチームについては、9月4日(水)まで変更及び追加を認める。また、10月の順位決定ラウンドに進出したチームについては、10月16日(水)まで変更及び追加を認める。

大会規定

1. 競技方法

- (1) 8月及び9月のラウンドは、本大会参加32チームによる、ノックアウトのトーナメント戦を行う。
- (2) 10月の順位決定ラウンドは、上位8チームを除く24チームを5つのブロックに分けた総当たり戦を行う。
- (3) 組分けは、第28回長野県クラブユースサッカー選手権大会（U-15）の最終順位を元とする。
- (4) 競技規則は、公益財団法人日本サッカー協会制定の「2018/2019年サッカー競技規則」による。
- (5) 1回戦は、8月10日（土）に、第28回長野県クラブユースサッカー選手権大会（U-15）における9位以下の24チームで12試合行う。
- (6) 2回戦は、8月17日（土）に、1回戦を勝ち上がった12チームと、第28回長野県クラブユースサッカー選手権大会（U-15）における5位～8位の4チームを加えた16チームで8試合行う。
- (7) ベスト12は、9月7日（土）に、2回戦を勝ち上がった8チームで4試合行い、ここを勝ち上がった4チームと第28回長野県クラブユースサッカー選手権大会（U-15）における1位～4位の4チームを加えた8チームで4試合行う。
- (8) ベスト4（代表決定戦）は、9月8日（日）に、ベスト12を勝ち上がった4チームで2試合行う。
- (9) 諸般の事情によりトーナメント及び順位決定ラウンドに変更が生じた場合は、それぞれを決定した際に連絡する。
- (10) 試合時間は、60分（前半・後半30分ずつ、ハーフタイム7分）とする。
- (11) トーナメントで勝敗が決しない場合は、ベスト8まではPK戦方式にて勝敗を決定する。ベスト4（代表決定戦）においては、5分間の休憩後に10分間（前半・後半5分ずつ）の延長戦を行い、それでも勝敗が決定しない場合はPK戦方式にて勝敗を決定する。順位決定ラウンドで勝敗が決定しない場合は引分けとする。
- (12) 順位決定ラウンドの順位決定は以下の通りとする。
 - ① 勝点は、勝ち＝3点 引分け＝1点 負け＝0点とし勝点の多い方を上位とする。
 - ② 勝点と同じ場合は、当該チーム同士の対戦の勝点が多い方を上位とする。
 - ③ 当該チーム同士の対戦の勝点と同じ場合は、得失点差の多いチームを上位とする。
 - ④ 得失点差が同じ場合は、総得点の多いチームを上位とする。
 - ⑤ 抽選にて決定する。

2. 警告・退場

本大会中に警告の累積が2回になった選手は次の1試合に出場できない。退場を命じられた選手は次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会にて決定する。

3. エントリー

選手25人以内、スタッフ7人以内とする。ただし、ベンチの人数は試合毎に選手20人以内、スタッフ5人以内とする。また、事前にエントリーしていない者はベンチには入れない。

4. メンバー表及び選手証の提出

メンバー表（2部）及び選手証の提出は、第1試合については、試合開始の45分前までに会場本部に提出すること。第2試合以降は前の試合のハーフタイムに会場本部に提出すること。

5. 選手交代

- (1) 交代選手最大9人の内9人までの交代を認める。交代用紙は使わない。尚、再入場は認めない。
- (2) 先発でエントリーされた選手が、キックオフまでの間にケガなどの理由で試合に出場することができない場合は、先発のエントリー変更を認める。尚、この変更は選手交代にはあたらない。また、変更された選手については、交代選手として出場することを認める。

6. メンバーチェック及び用具チェック

- (1) メンバー表と選手証の照合は、会場本部によって行う。キックオフ前の選手との照合は行わない。

(2) 用具チェックは、キックオフの5分前に審判団によって行う。尚、チェックを受けるのは、先発でエントリーされた選手のみとし、チェック後はベンチに戻れない。

7. ユニフォーム

(1) ユニフォームについては、大会登録時に申請したものとし、大会期間中の変更は認めない。

(2) ユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）は、正の他に副として正と異なる色の物を必ず携行すること。GKも同様とする。

(3) アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同じ色でなければならない。アンダーショーツ及びタイツは、ショーツの主たる色、または、ショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

(4) レガース（すね当て）を固定するテーピング類については、ソックスと同じ色のものを使用すること。

(5) 背番号は、必ず参加登録時に登録された選手固有の番号に一致させて使用し、ショーツに番号を付けている場合はその番号も一致させる。尚、ユニフォームの上衣が縞の場合は、台布などを使用し背番号を作り分かりやすく危険の無いように、また外れないように取り付けること。

(6) ユニフォームに表示する広告は公益財団法人日本サッカー協会の「ユニフォーム規定」に準じる。

(7) 審判と同一色または類似色のユニフォームを着用することは出来ない。

(8) その他、詳細は公益財団法人日本サッカー協会の「ユニフォーム規定」に準じる。

8. 試合使用球

新品の試合球を各チーム2球ずつ用意すること。

10. 試合の成立

用具チェック時に11人揃っていること。

11. 試合の詳細

(1) ユニフォームの色は、当該チーム同士で事前に相談し支障のない組み合わせを決めておくこと。ただし、最終的な判断は主審が行う。

(2) チームベンチは、会場本部からピッチに向かって左側を、プログラム【日程表】の左側に表記されているチームのベンチとし、その反対側を右側に表記されているチームのベンチとする。

(3) ピッチ内練習は、第1試合においてはキックオフの25分前から10分間とする。第2試合以降については、前の試合のハーフタイムにのみとする。ボールの使用可。

(4) 交代選手のウォーミングアップは、ベンチより後方にてボールの使用不可にて行うこと。尚、グラウンドによってウォーミングアップの場所が確保出来ない場合は、会場本部の指示を仰ぐこと。

(5) 交代によりピッチを退く選手は、速やかにピッチを退きベンチに戻りビブスを着用すること。また、他の交代選手もビブスを着用すること。

(6) アクセサリー類の装着は禁止とする。それ以外の物でも審判が危険と判断した場合はこれを外すこと。このことにより、当該選手がキックオフに間に合わなかった場合、第4審判のチェックを受けてから試合に入ること。

(7) 主審は、天候不良などにより試合の続行が難しいと判断した場合は、その最終決定をする。ただし、その後の運営などについては、大会役員及び競技役員との協議により決定する。

(8) 大会期間中の負傷については、各チームの責任において対処すること。ただし、緊急対応をしなければならない場合は、会場本部と連携を取り迅速に対応すること。また、速やかに大会事務局への連絡も行うこと。エントリーされた者は、必ず健康保険証を携行しておくこと。

(10) 大会要項及び大会規定に記載されていない想定外な事象が発生した場合は、大会役員及び競技役員との協議により決定し、参加チームに連絡する。

12. 審判

(1) 本大会の審判は、公益財団法人日本サッカー協会に登録した審判員にて行う。

- (2) 本大会は、参加チームの帯同審判員制を採用する。各チームは2人の審判員を必ず登録すること。
- (3) 主審は3級以上とする。
- (4) ベスト8以上の審判団は16歳以上で組織すること。
- (5) 審判証のチェックは、会場本部で行う。
- (6) 審判団は担当する試合の前に打ち合わせを行い、試合の後は反省会を行うこと。
- (7) 試合の用具のチェックは5分前に行う。
- (8) 審判員は、担当した試合の審判報告書へ氏名、審判証No. を正確に記載すること。
- (9) 警告・退場があった場合は、重要事項報告書へ必要事項を正確に記載すること。また、試合結果記入用紙へ必要事項を記載し、主審署名欄へサインをすること。

13. その他・注意事項

- (1) 効率的な試合運営を行うため、セミマルチボール方式を適用する。
- (2) 熱中症対策及び落雷事故防止に対しては、公益財団法人日本サッカー協会の「熱中症対策ガイドライン」並びに「落雷事故防止対策についての指針」などと照らし合わせ、出来る限りの対策を講じる。
- (3) 熱中症対策について
 - ① キックオフ30分前の測定で、WBGT=31℃以上の場合、試合を中止とする場合がある。試合を中止とした場合は、抽選で次に進むチームを決定する。尚、中止とせずに試合を実施する場合は、JFA熱中症対策(Cooling Breakなど)を必ず行うこと。
 - ② WBGT=28℃以上の場合、Cooling Breakを行うこと。
 - ③ WBGT=25℃以上の場合、飲水タイムを取ること。
 - ④ WBGTの値に関係なく、以下の条件の場合は暑熱対策を行うこと。
 - 気温が32℃以上の場合、Cooling Breakを行うことが望ましい。
 - 気温が28℃以上の場合、飲水タイムを取ることが望ましい。
- (4) ルール・マナーについてチームで取り組むこと。
- (5) 会場グラウンド内は、禁酒、禁煙。喫煙は指定された特定の場所にて行うこと。
- (6) トイレ、水飲み場はきれいに大切に使用すること。
- (7) ゴミの後始末は各チームの責任で行い、必要があれば会場の清掃も行うこと。
- (8) 保護者の応援する場所は、原則として会場本部及びベンチと反対側とすること。
- (9) 大会規定に規定されていない事項については、大会役員及び競技役員の協議の上決定する。